

<東北地区納税貯蓄組合連合会会長賞>

税金の意味

郡山市立富田中学校 三年 佐藤 遼

感染拡大防止。今、私に出来ることは外出自粛とマスクをすることぐらいしかありません。このような緊急事態の時こそ私達、一人一人が力を合わせる時だと思います。個々の力は小さくても、それを合わせると大きな力になります。それは税金も同じだと思います。以前は税金と聞くと、私は消費税を払うことしか思いつきませんでした。買い物のたびに余分にお金を払っていることが損だとも思っていました。しかし、学校で税金を学ぶ機会があった時に、私は税金によって今の社会や私達の暮らしが支えられていることが分かりました。

税金の多くは役立つ事に使われていますが、中には無駄な支出もあるらしいということを知りました。例えば救急車をタクシー代わりに使ったり、患者がいないのに電話をかける人もいて、年間にすると、相当な金額が無駄に使われていることを知りました。本当に救急車を必要とする人々の搬送が遅れたりすることもあると知った時、私達は税金を使う側の使い方について考えなくては行けないと強く感じました。他にも無駄はあると思いますが、それを無くしたら別のことにも活かせるのではないのでしょうか。一人一人が考えて、税の使い方を自分のお金を使うように考えてみてはどうでしょうか。この豊かで、守られている生活の全てを当たり前と思わず、これからは、払うことの意味と使うことの意味、両方を知っていきたいと思いました。

以前の私のように、税金が損だと思っている人は、まだ沢山いると思います。みんなに納められた大切な税金は、医療や教育、公共の施設など、さまざまな場面でみんなのために使われています。それによって困っている人や弱い立場の人を救うことが出来ます。沢山の人を笑顔にすることが出来ます。私は税金を学び、学校に行けることも、公園で遊ぶことも安心して生活できることもすべて税金のおかげだということが分かりました。今まで、当たり前だと思っていたことの環境に感謝したいと思いま

す。また、私が払った消費税も誰かの命を救い、誰かの生活を変えることが出来るかもしれません。お互いを救い、救われる税金は必要不可欠な義務だと思います。これからもそのことを忘れずに生活して行きたいと思います。そしてまた、税金は損をしている訳ではないと、沢山の人のために知ってほしいと思います。

私が社会に出て税金を払うようになる時、きちんと納められる人でいたいと思います。「国民の義務」だからというだけでなく、みんなが国を、国民を支えていく気持ちを持ち続けるために払うことが大切なのだと思います。そのとき私は、ただ納めるだけではなく納める意味も分かっていたいと、改めて思いました。